



この1冊で Tooth Wear のことを、 「紐解いて」「理解して」「対応」できます！

月刊「デンタルハイジーン」別冊
Tooth Wear
患者背景から探る酸蝕・摩耗・咬耗への対応
西村耕三 著

AB 判／136 頁／定価 3,850 円（本体 3,500 円＋税 10%）／医歯薬出版（2024 年 11 月）

「Tooth Wear」という用語を最近よく耳にしますが、その治療や予防についての的確に答えられる歯科衛生士や歯科医師は、まだ少ないのではないのでしょうか。私自身、毎日フルーツを食べることを欠かさず、寝る前のハーブティーを楽しむにしており、患者さんには食後すぐにブラッシングをするように指導していました。しかし、これらが Tooth Wear のリスクを高める習慣であることを本書で知り、驚きました。

酸蝕・摩耗・咬耗といった Tooth Wear は日本人の 4 人に 1 人にみられるといわれていますが、自覚症状が少ないため、重度に進行するまで患者さん自身が気づかないことが多いそうです。だからこそ、歯科医院で早期に発見し、適切な対応で進行を阻止することが重要です。

本書では、歯科衛生士が Tooth Wear を早期発見するためのポイントとなる口腔内の特徴を、豊富な症例写真から視覚的に理解できるように工夫されています。また、Tooth Wear を疑うキーワードやチェアサイドでのチェックポイントなどが提示され、すぐに臨床で実践できる内容となっています。

齲蝕や歯周病とは異なり、Tooth Wear は患者さんの食生活、生活習慣、そして心理的・社会的な要因が複雑に絡み合っています。そのため、適切な治療や予防を行うためには、患者さん一人ひとりの背景を理解することが不可欠です。本書は、歯科衛生士が単に技術的な対応を行うだけでなく、患者さんの抱える問題や不安に寄り添い、共感に基づいたコミュニケーションを図ることの重要性を説いています。

そのために多様な症例を提示し、それぞれの場面で歯科衛生士が患者さんにどのように話しかけるべきか、逆に使ってはいけない NG ワードは何かを、図表やイラストなどを用いてわかりやすく解説しています。本書はまさに、歯科衛生士にとって「現場で役立つ」実践的なガイドブックとなっています。

また、本書は診断から始まり、MI（Minimal Intervention）に基づいた最適な治療方法も明確に示されているため、歯科医師にとっても新たな発見がとて多い内容となっています。歯科医院で、歯科衛生士と歯科医師がいっしょに読んで学びを得られる名著です。